

学習内容報告書 フォーマット

学校名	港区立青南小学校
授業者	寺師 純子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「身近な自然」※チリメンモンスターを用いた観察は、アレルギー対応により中止

1-2. 学年

第3学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

理科・食育

1-4. 単元の概要

春の自然を調べながら、春の食材を紹介し、季節によってさまざまな生物を食材として利用していることを知る。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

春の自然調べと合わせて、旬の食材を調べることにより生物の多様性に気づくとともに、海洋環境を含めた生物への興味関心を高める。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

様々な生き物やそのくらしに興味関心をもち、生物を愛護する。

1-7. 単元の展開（全2時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / ◎主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ～ 2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春の自然調べをする。 ・ 生き物ビンゴで色やにおい、手触りなどに着目して春の生き物を調べる。 ○ 食卓にのぼる生物調べ。 ・ 旬の食材を調べる。 ・ 食卓には、海の生物ものぼることに気づく。 ※○チリメンモンスター探しをする。 ・ 様々な生物がいることに気づく。 ○ 様々な生物や暮らしについて調べる計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手触りやにおいに着目させる。 ○ 似ているものを比較しながら「違いや同じみつけ」をして、観察の視点をもって比べるとよいことを知らせる。 ○ 名前調べにより、観察の視点が育つようにする。 ◎進んで自然とかかかわるとともに、違いや同じに着目して比べることができる。

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

海の中には多様な生物が暮らしており、人は食料として利用していることを理解する。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>○ チリメンモンスターを探す。</p> <p>・同じように見える小魚もよく見ると違う。</p> <p>・魚以外にもいろいろな生物がいる。</p> <p>※以下中止。</p> <p>アレルギー対応により、ケースの見本を紹介するに どめた。</p> <p>※校内教員研修により、模擬授業実践とした。</p> <p>○ みつけた生物の名前を調べる。</p> <p>○ みつけた生物を標本にする。</p> <p>○ 食卓に上る食材について調べることとする。</p>	<p>・普段は取り除く雑魚を除かないちりめんであることを知らせる。</p> <p>◎家庭の食卓を調べようという意欲をもっている。 (ノートの記述より)</p>

3. 今回の活動の自己評価

配慮を要するアレルギー児童への対応のため、チリメンモンスター探しは中止とした。見本を紹介するにとどめ、家庭での実践を促した。授業後に家庭での実践報告が寄せられた。アレルギー対応について検討し、持ち帰り実験にしてもよかった。教員研修にて実施し、標本作成の方法について整備することができた。

4. 今後の課題

アレルギー児童への配慮を工夫し、取り入れていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

アレルギー対応に充分注意が必要であること。